

☆寄稿☆

- ◇教授 亙理厚, 日産自動車K K 白井闊, 須長石男, 飯田信
 「An Evaluation of Stability of a Motor Vehicle upon Steering」12th Congres of FISITA, Barcelona, Spain.
 (1968. 5. 22)
- ◇教授 亙理厚, トヨタ自動車工業K K 安達瑛二, 三木淳, 永井守
 「Elastic Vibration Analysis of Automobile Booy Structure」1st International Conference on Vehicle Mechanics, Detroit, U. S. A., (1968. 7. 18)
- ◇教授 沢井善三郎「溶断機の数値制御について」溶接技術, 16, 5, p. 13~16(1968. 5)
- ◇教授 山辺武郎「日本における塩水淡水化の現状—各論—イオン交換 膜電気透析法—総括」日本海水学会誌, 22, p. 18~25 (1968. 5)
- ◇助教授 河添邦太郎, 研究囑託 川井利長「合成ゼオライトの新しい工業利用」化学工場, 12, 5, p. 91~96 (1968. 5)
- ◇助教授 河添邦太郎「プラント内の流れ」第 8 回アイソトープ会議論文集, p. 276~278 (1968. 5)

☆受賞☆

◇助教授 石田洋一, 研究生 長谷川隆, 日立中央研 永田文男
 「日本金属学会第18回金属の組織写真賞入選作品」日本金属学会会報 7, 5 (1968. 5)

◇第2部 亙理厚教授は「An Evaluation of Stability of a Motor Vehicle upon Steering」(日産自動車K K, 白井闊, 須長石男, 飯田信氏らと共著)の論文に対して“Manuel Junoy 賞”を受けた (1968. 5. 23).

☆海外渡航☆

- ◇第5部 勝田高司教授は欧米諸国における高層住宅設備および建築環境学上の諸問題について調査研究のため, 5月16日出発し, 6月9日帰国.
- ◇第3部 尾上守夫教授はイタリア, ミラノにおいて開かれる, I. E. C 国際会議に出席, またヨーロッパ各国の大学および研究所の応用電子工学上の研究調査のため 5月31日出発し, 6月17日帰国.
- ◇第2部 植村恒義教授はスウェーデン, ストックホルムにおいて開かれる第8回国際高速写真会議に出席, またアメリカおよび欧州各国において同会議に関連する精密機器学の調査研究のため, 6月13日出発し, 7月4日帰国の予定.

第 20 卷

生産研究 7月号目次

第 7 号

表紙	東京国際貿易センター内部 (本文1ページ参照)		
研究解説			
平面および曲面問題の追求	坪井善勝	1	
衝撃ひずみの測定をめぐる	大井光四郎 小倉公達	32	
金属の酸化機構の微視的研究 ——結晶格子欠陥の役割——	本間 禎	37	
“プレハプ리케이션型”という技術の概念 ——技術開発の歴史について——	本多 昭	42	
研究速報			
高速道路のサービスエリアにおける駐車実態調査とその解析(その2) ——駐車時間分布——	川 浦 潔	50	
薄板圧延における幅方向肉厚分布に関する一考察	鈴木 弘 本 城 恒	53	
Fe-Al ₂ O ₃ 分散合金の抵抗焼結	坂原 徹 井 善 四	55	
ロールフォーミングに関する実験的研究 第1報 ——基本的断面形状に関する実験 (1)——	鈴木 弘 木 内 学	58	
ロールフォーミングに関する解析的研究 第1報 ——板の1次元塑性曲げとそれに種々のひずみが重なった場合の応力分布——	木 中 島 聰 木 内 学	61	
ロールフォーミングに関する解析的研究 第2報 ——板の2次元塑性曲げとそれに種々のひずみが重なった場合の応力分布——	木 内 学	64	
窒素を媒質とする音響模型実験の研究	石井 聖 平野 興 橋 秀 樹	67	
研究室紹介			
沢井研究室	沢 井 善三郎	69	
生研ニュース			表 2, 70